

神奈川県立産業技術短期大学校

神奈川県立産業技術短期大学校 渡部 信司

1. はじめに

本県では、平成3年度から、新たな職業能力開発を推進するための中・長期計画として、「かながわ総合職業能力開発計画」をスタートしました。

この計画において、産業社会における技術革新、情報化等による技術の高度化・複合化、経済活動の国際化が進展するなかで、神奈川の先進的産業を支える新しい時代の技術者づくりを基本テーマに掲げ、その人材育成、確保を図るための高度技能者育成施設として職業能力開発短期大学校の設置が重点施策に盛り込まれました。

これにより、旧横浜高等職業技術校（神奈川県横浜市旭区：現短期大学校所在地）を神奈川県における職業能力開発を先導する施設として機能を拡大し、さらに、公共部門における高度の人材育成機能を併せ持った職業能力開発の中核施設としての県立



全 景

職業能力開発短期大学校化を図り、平成7年4月に、「神奈川県立産業技術短期大学校」を開校しました。

本県は、現在当校のほか、職業技術校（職業能力開発校）6校、障害者職業能力開発校（国立県営）1校を設置しており、当校はこれら本県の職業能力開発の中核施設として機能しています。

2. 神奈川県立産業技術短期大学校の業務内容

当校は、産業技術の高度化・情報化が進展するなかで、神奈川の先進的な産業を支える県内企業でニーズの高い実践技術者（専門的な技術知識と、ものづくりに関する幅広い高度の技能を併せ持ち、豊かな創造力と優れた行動力を兼ね備えた課題解決型の人材）を育成するとともに、神奈川県における生涯職業能力開発を推進する中核施設として、産業の発展に寄与することを目的としています。

このため、高度職業訓練専門課程5学科（生産技術科、制御技術科、電子技術科、産業デザイン科、情報技術科、各学科とも定員40名、総定員400名）のほか、かながわ人材育成支援センター（開発研修課）を設置しています。

2.1 生産技術科

CAD/CAMを用いた設計技術、各種工作機械やNC工作機械を用いた加工技術、シーケンスを用いた制御技術の3つに重点を置き、「ものづくり」を通して実践技術を学びます。生産技術の高度化に的確に対応でき、広い視野で思考できるメカニカルエ



CAD/CAM実習

エンジニアを目指します。

—訓練目標—

- 機械機器の構想を図面として具体化できる。
 - ・機械図面の読図や製図ができる。
 - ・CADによる3次元モデルの製作ができる。
- 機械機器の製作ができる。
 - ・汎用およびNC工作機械による部品製作ができる。
 - ・CAMによるデータ作成と部品製作ができる。
 - ・機械機器の組立調整ができる。
- 機械機器の制御ができる。
 - ・リレーおよびPLCによるシーケンス制御ができる。
 - ・センサを用いた機械制御ができる。

2.2 制御技術科

エレクトロニクス、コンピュータ、メカトロニクス（機械・電子・情報）技術を身につけ機械システムの制御およびメンテナンスのほか新たな機器の開発、設計製作ができるメカトロニクス・エンジニアを目指します。

—訓練目標—

- 機械機器の設計・製作ができる。
- 電気・電子回路の組立・調整・検査ができる。
- C言語等でプログラミングができる。
- 機械、電子、制御、情報のことがわかり、ものづくりができる。

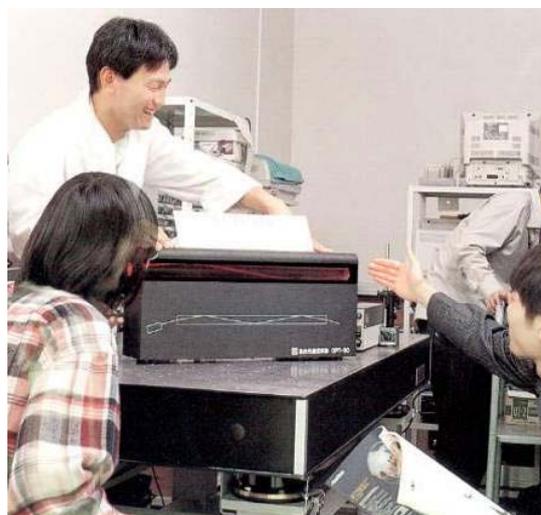


制御技術実習

- ・各種アクチュエータやセンサの仕組みを理解し取り扱うことができる。
- ・PLCを用いた制御装置を設計・製作・検査できる。
- ・コンピュータ制御によるシステムの構築および組立ができる。

2.3 電子技術科

デジタル技術、アナログ技術、通信技術等をベースにした各種電子機器の設計、製作、メンテナンスのほか、コンピュータ支援による回路設計、ソフトウェア設計を学ぶ。産業界のハイテク化に的確に対応できるエレクトロニクス・エンジニアを目指します。



光ファイバ実験

—訓練目標—

- 電子工学の基礎理論を実験で検証し実践できる。
 - ・オシロスコープなどの各種計測機器を使いこなす。
- 電子回路の設計，組立，調整検査ができる。
 - ・デジタルIC，LSIなどのデバイスの基本原理を理解する。
 - ・各種電子回路の基本動作がわかり，設計，組立，調整検査ができる。
- C言語等でプログラミングができる。
 - ・コンピュータを駆使し各種電子機器をコントロールできる。

2.4 産業デザイン科

基礎デザイン技術を習得してから，グラフィックデザイン・プロダクトデザイン・スペースデザインの3分野に分かれて，企画・設計から制作までのデザインワークを学びます。しなやかな感性と豊かな創造力を持ち，斬新で効果的なデザインの提案ができるデザイン・エンジニアを目指します。

—訓練目標—

- グラフィックデザイン（GD）を身につける。
 - ・広告のデザインができる。
 - ・DTPの活用ができる。
- プロダクトデザイン（PD）を身につける。
 - ・工業製品のデザインができる。



製品デザイン論作品発表

- ・クラフトのデザインができる。
- スペースデザイン（SD）を身につける。
 - ・住空間（住宅，インテリア）の設計ができる。
 - ・商空間（店舗，ディスプレイ）の設計ができる。

2.5 情報技術科

急速に進展する情報技術や，これら周辺の応用技術の多様な展開に柔軟に対応できるよう，ソフトウェア開発，ネットワーク構築，データベースなどの理論や技術を学びます。マクロ的な視野を持つ創造的なシステム・エンジニアを目指します。

—訓練目標—

- アプリケーションの開発ができる。
 - ・C++によるアプリケーションの設計・開発ができる。
 - ・Javaによるアプリケーションの設計・開発ができる。
 - ・データベースアプリケーションの設計・開発ができる。
- ネットワークシステムの構築ができる。
 - ・UNIXおよびWindowsネットワークシステムの設計・構築ができる。
 - ・インターネット，イントラネットの設計・構築ができる。



通信ネットワーク実習

2.6 かながわ人材育成支援センター

産業構造や雇用を巡る環境が急速に変化するなか，雇用のミスマッチを解消していく取組みが重要

となっています。求職者の雇用を促進し、企業の人材充足率を高め、企業在職者のキャリアアップを図っていくためには、求職者や企業のニーズを的確にとらえ、多様な能力開発機会を提供していく必要があります。この目的のためには、民間・公共の能力開発機関や企業、団体との間で情報を一元化したうえで共有し、協調、連携した支援のできる仕組みづくりが急務であると考えます。

このような背景のなかで神奈川県は、民間と公共とが連携し、社会全体で職業能力開発を推進するための中核的機関として「かながわ人材育成支援センター」を産業技術短期大学校開発研修課の事業として、平成16年6月に学内に設置いたしました。

「かながわ人材育成支援センター」は、民間・公共から構成される「かながわ人材育成支援ネットワーク」から提供された講習会、指導人材、研修会場、教材・テキストの能力開発情報をインターネットで提供します。また、能力開発相談としてキャリア・コンサルティングを行い、不足する職業能力を身につけるための情報を提供します。さらに、企業で行う研修・教育のコーディネート等を実施し、神奈川の産業をささえる人材育成の支援をしています。

さらに、これらの機能を充実・拡大するために平成19年4月に開校地から神奈川県藤沢合同庁舎（神奈川県藤沢市）に移転しました。

平成20年度の当センターの事業実施概況は次のとおりです。

- 人材育成支援ネットワーク会員数：197会員
- 職業能力開発情報提供：161,138件
- 企業からの職業能力開発相談対応：1,620件
（在職者訓練コーディネート等）
- 個人からの職業能力開発相談対応：3,663件
（キャリアコンサルティング等）
- 来所者数：6,277人（一日平均25.8人）
- 公共・民間共同調査研究・開発：21回

2.7 その他の事業

当短期大学校では、これら高度職業訓練専門課程、かながわ人材育成支援センター事業のほか、次のような事業を実施しています。

(1) 離職者等訓練事業

離職を余儀なくされた方で、現在、就職活動を行っている方を対象に、委託訓練事業および委託訓練生就職支援事業を実施しています。平成20年度においては、知識等習得コースとして16コース、480人の訓練を専修学校等に委託して実施しました。

(2) 在職者等訓練事業

中小企業等の人材育成を支援するため、在職者訓練の相談を実施するとともに、専門短期課程による能力開発セミナーを実施しています。平成20年度においては、89講座を開講し、延べ2,205人が受講しました。

(3) 職業訓練指導員研修事業

高度化・多様化する訓練ニーズに対応するため、職業訓練指導員の資質の向上を目的として、職業訓練指導員研修事業を実施しています。平成20年度においては、103コース、延べ484名の研修を実施しました。

3. おわりに

当短期大学校は、平成18年度から民間から校長を迎え、常に産業界や時代のニーズに即した職業能力開発を目指して改革を続けています。

今年度から、第2代目に当たる民間出身の校長が新たに就任し、「企業ニーズ、学生ニーズを的確にとらえた短大校の改革」を趣旨に、①カリキュラム見直し、②企業や地域と学生との“触れ合い場づくり”地域から頼れる短大へ、③指導員のキャリアアップ、④親しみやすい学科名へ、を4本柱として一層の改革に臨んでいます。

関係者各位の忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いです。